



# Flash News

フラッシュ ニュース

第135号

9月5日～14日  
国際交流チーム

## 学長一行中国・ベトナム訪問

9月6日、北京の中国社会科学院日本研究所において「『忍者』から見た中国と日本と韓国—その交流の歴史と未来—」と題した国際シンポジウムが開催されました。高 洪中国社会科学院日本研究所副所長、内田淳正三重大学長、吉川竹二国際交流基金北京日本文化センター所長の挨拶の後、日中韓の研究者による発表、討論が行われました。本学からは人文学部の尾西康充教授、山田雄司教授、吉丸雄哉准教授、川上仁一社会連携特任教授が発表しました。翌7日、本学と中国社会科学院日本研究所との間で学術交流協定の調印式が行われました。これまで忍者に関する共同研究を行い、シンポジウムを開催するなど、交流を深めてきましたが、学術交流協定の調印により、一層交流が活発になることが期待されます。9日には南京工業大学と大学間協定の更新を行い、その後、江蘇大学を訪問しました。



国際シンポジウム

9月11日は、ベトナムのホーチミン市師範大学を訪問し、学術・学生交流協定の更新を行いました。両学長間で日本語学科による従来の交流に加え、物理・科学・IT分野などの分野にも協力を拡大していく今後の可能性について意見交換が行われました。その後、ツーズー病院平和村を訪問し、1995年に附属病院で自然肛門の手術を受けたドクさん、タン村長らと入院時の思い出話を交えて、終始和やかに会談が行われました。翌12日には、カントー大学を訪問し、新たな学術・学生交流に関する協定を締結しました。両学長間で協定締結を踏まえた協力の拡大について協議が行われ、今年度中にカントー大学から農学および水産学分野の研究者を本学に招き、合同シンポジウムの開催について準備を進めることになりました。



中国社会科学院日本研究所の  
李 薇所長(右)と内田学長



ドクさん(左)と内田学長



カントー大学の  
トアン学長(左)と内田学長

9月17日  
医学部附属病院

## ハーモニーハウス開所式

株式会社メディカルー光からのご寄附により建設を進めていた「ハーモニーハウス」が竣工し、開所式を挙りました。小児がん拠点病院に指定されている本学附属病院には長期入院する患儿も多く、遠方から治療に付き添う家族への負担の軽減を目的に、本施設が建設されました。開所式では、内田淳正学長、伊藤正明病院長、株式会社メディカルー光の南野利久社長から完成を喜ぶ挨拶があり、関係者でテープカットを行いました。今後は、学生や研修医などの教育研究支援にも活用される予定です。



8月24日/国際環境教育研究センター

## AQUA SOCIAL FES!! 2014 in 松名瀬

「ESD in 三重 2014」の一環として、松阪市の松名瀬干潟・海水浴場において、350人が清掃活動に参加し、その後、干潟に生息する生物を学ぶ環境学習が行われました。



9月1日、2日/人事チーム

## 平成26年度東海地区国立大学法人等中堅職員研修

本学を当番校として、中堅職員としての働き方、リーダーシップなどについて講義やワールドカフェ形式での討議、演習が行われ、8国立大学法人などから70人が参加しました。



3日/防災室

## 平成26年度 第1回三重大学防災訓練(図上訓練)

南海トラフを震源とする巨大地震を想定した図上訓練や初期消火訓練などの実働訓練が行われ、最後に内田学長、防災アドバイザーの川口准教授から総評がありました。



8日~11日/人文学部

## 舞台芸術振興のためのアートマネジメント人材育成講座

文化庁「大学を活用した文化芸術推進事業」の一環として、アートと社会を繋ぎ、アートの可能性や魅力を発信できる人材育成を目的に開催されました。延べ160人が参加しました。



12日/附属教育研究施設

## 練習船「勢水丸」が海上保安庁長官感謝状を受賞

海上保安庁から「水路記念日」に伴い、日本南方海域の海面水温や風、海流など、数多くのデータ提供に長年協力したとして練習船「勢水丸」に感謝状が贈られました。



14日/附属病院肝胆膵外科

## パープルリボンウオーク&セミナー 2014 in 津一 隣がん克服を目指して

「早期発見をめざして」と「専門施設での治療を」をスローガンに膵臓がん啓発運動が行われ、ウオークイベントに229人、セミナーに156人が参加し、活発な意見交換などが行われました。



17日/総務チーム

## 三重大学大学院学位記授与式

事務局2階会議室において、学位記授与式が挙行され、学位記が12人に授与されました。学長が式辞を述べた後、3人の学業優秀学生を表彰し、賞状と記念品を贈呈しました。



18日/総務チーム広報室

## 記者会見「がん治療の新たな光となる新規治療標的遺伝子を発見」

医学系研究科の田中利男教授らのグループが、独自改良したゼブラフィッシュを用いて、「ZMYND8」が新しいがん治療の可能性を持つ遺伝子であることを発見しました。



19日/生物資源学部

## 生物資源学研究科オープンラボ「産学官コミュニティシンポジウム2014」

産学官交流を通して生物資源学研究科の魅力をアピールすることを目的に、大学院生の研究発表が中心のシンポジウムやパネルディスカッションなどが行われ、171人が参加しました。



## ご報告

- ◎9/9~12 環境・情報科学館において、環境報告書第3者評価が行われ、本学の関係者とシャープ(株)、名古屋大学、中部電力(株)、三重県が現在作成中の環境報告書について意見交換を行いました。(国際環境教育研究センター)
- ◎9/10~12/11 人文学部公開ゼミ・公開講座が開講され、9月10日、第1回講座として赤岩 隆教授の「アフリカーナについて」と題した講座が行われました。12月11日まで全9講座が開講されます。(人文学部)
- ◎9/12~13 平成26年度国立大学法人三重大学事務系初任者研修が国立曾爾青少年自然の家(奈良県)において行われ、講義やワークショップが行われました。(人事チーム)
- ◎9/13 平成26年度三重大学三翠同窓会総会が開催され、県内外から約180人の参加があり、総会後には120人が参加して懇談会が行われました。(三翠会館)
- ◎9/17 第1回「IGA地域情報交流カフェ」がゆめテクノ伊賀(伊賀市)のテクノホールにおいて開催され、伊賀地域内の中小事業者や創業・起業を志す方、ゆめテクノ伊賀のインキュベーション入居者など59人が参加しました。(伊賀研究拠点)